

地域支援推進事業（伊達市）訪問



今年3月に完成した新校舎

10月1日（月）に伊達市立保原小学校にある「市民ホームベース」を訪問しました。「市民ホームベース」は、保原小学校区内を活動の範囲とするスクールコミュニティ事業の拠点になっています。

地域支援コーディネーターの浅野テル子さんと菅野亜以子さんを始めとする9人の運営スタッフ（ボランティア）及び各種ボランティアの方々で事業の推進にあたっています。菅野さんを除く8名の運営スタッフさんは、無理のないように運営に協力できるときに来校して業務を行っています。また、各種ボランティアの方々は、定期的に、または随時に相談をしながら活動を進めています。

どんな活動をしていますか。



スクールコミュニティは、学校を核とした地域コミュニティづくりをめざしています。

○ 地域（環境支援、学習支援、安全支援、情報支援の4つのボランティア）と学校の協働を促進します。

○ 自主管理による学校施設の利用で学びと交流を促進します。

← 「花ボランティア」…月曜日は地域の方々が「市民ホームベース」にたくさんの花を届けてくれます。スタッフさんから全校放送が入ると、花がほしい学級の児童が花瓶をもって集まってきます。

✓ 「作品ボランティア」…市民の写真や絵などのすばらしい作品が校舎内に飾られています。児童は普段からすばらしい作品を目にすることができる環境で生活しています。

その他「ビオトープ」や「ほぼラッキー（保原小マスコット）」の作成にも関わるなど、ボランティアの募集と派遣、児童と地域住民の交流促進、広報活動、市民への学校施設の貸出し、その他連絡調整を行っています。

コーディネーターさんから



窓にはスローガン

「地域と学校を結ぶ応援団」
が貼られています。

私たちの仕事は、

「**地域と学校を結ぶ、子供たちのための応援団**」です。

次の5つの願いをもとに、さまざまな活動をしています。

- ① きれいな学校
- ② 学校をきれいにする子ども
- ③ 学校をじょうずに使える子ども
- ④ 自然を大切にする子ども
- ⑤ 地域の方々と一緒に学べる子ども

例えば前項の活動以外にも、「トイレは学校の玄関。トイレを見れば学校の様子が分かる」とも言われますので、トイレの美化指導のお手伝いなども行っています。